

## 浦安市子育て家庭課と浦安市保育フォーラム懇談会議事録

開催場所：集合事務所 301 会議室

日 時：2003年11月14日金曜日 19:00～20:45

出席者

子育て家庭課：工藤課長、井上係長、(保育係)川口副主査、(児童育成係)長島係長

保育フォーラム:(猫実保育園) 鈴木三枝子、鈴木さとみ

(日の出保育園) 富田史子、黒澤瑞恵、下田幸代、柳井田由理、高橋幸士(司会)

(当代島保育園) 園田久美、

(東野保育園) 高城佐奈江、渡辺圭子、中島恵美、中澤由理子

(入船保育園) 中畑寛延、篠田康成、逸見るみ子、寺川美樹

(高洲保育園) 永原香代子(記)

### 自己紹介

- ◆ 浦安市職員の自己紹介(工藤課長他3名)
- ◆ 保育フォーラム側は立て札に園名と子供の年齢を書いているので省略

### 議事内容

#### 要望書について

- ◆ 各園の各園の要望項目はすでに文書にて回答をいただいています。
- ◆ フォーラム全体の要望項目についての回答を工藤課長より口頭説明。

#### 1、保育士配置基準について

保育士を充実させてほしい、とくに2歳児から3歳児になるときに保育士1人に対し20人の子供では多すぎるというご意見であるが、これは年度当初には3歳児クラス全体が落ち着くまでフリーの保育士を配置するなど、園全体で対応しているのでご理解願いたいと思います。

#### 2、男性保育士の採用について

男性だけを別枠で採用する、ということではできませんが、現在、正規職員で1人、非常勤職員で2人採用しており、来年4月の募集では保育士147名中16人の男性の応募がありました。

#### 3、複数担任制について

浦安市では国の基準にない、各園おおむね4人のフリーの保育士を配置し万全の体制で保育をしています。担任の数につきましては現状を維持したいと考えます。

#### 4、時間外保育士について

時間外保育士の人数が不足しているというご意見ですが、今年度から安全対策等のため各園とも朝2名、夕方2名の増員を図ったところです。現在は、時間外サポーターは3歳未満のお子さんには、1人のサポーターで5人のお子さんを見てもらえる体制で採用しており、3歳以上のお子さんにつきましては30対1人で配置し、未満児を手厚くしております。

#### 5、時間外保育について

##### 6、土曜日の保育について

午後7時以降の時間外保育と土曜の時間外保育（現在午後4時）の延長についてのご要望ですが、利用者の希望が増加していることはこちらも承知しております。今後、民間保育園を中心に導入を検討していきたいと思っております。

##### 7、給食・おやつ食材について

市としてはできるだけことはやっていると考えており、引き続き努力していきたい。アレルギーのお子さんについても、各園で除去食や代替食の持参により対応しております。

##### 8、おむつについて

保護者のご意見としては理解できますが、園単位で処理するとなると量が多いし、収集が1日おきでおいなど大きな問題が出てくることも考えられます。現状のままご協力をいただきたいと思っております。

##### 9、薬の服用・塗布について

原則として保育園では行いません。てんかん、糖尿病、心臓疾患など慢性疾患をお持ちのお子さんにつきましては現状も取り組みをしておりますが、これは一般化できないと思っております。

##### 10、病後児・病児保育等について

現在、ぱんだルームでは年439人、1日平均2人の利用がありまして、稼働率70%です。あくまで症状が安定したおさんのための制度で、入院治療の必要のない方が対象となっております。

保健室については、各園形態は違いますが設置しています。小中学校のような保健室の設置はスペースの関係で設置するのは難しいと考えております。

##### 11、安全対策について

前回もお話がありました。送迎者のチェックにつきましては体制面などを整えながら全園で実施しています。守衛・警備員の配置まではいまのところ考えていません。

##### 12、災害時の対応について

大地震などの災害が発生した場合には、園児の安全を第一に確保し、その後、職員の安全や園舎の状況を

把握し、園内に残って保護者の方の迎えを待てる状態かどうかを判断することにしていきます。園舎が危険であるとは判断した場合は、最寄りの避難所に避難する場合もあり得ます。その場合は、園舎に避難先がどこであるか指示を書くことになっていきますのでご協力をお願いします。

### 13、保育料について

現在浦安市の保育料は、平成5年以来据え置きになっています。しかし、保育園運営経費に占める保育料の割合は、年間18億6000万円の経費のうち、19%という現状があります。このへんは見直して行かなくてはならないと考えています。このような現状で、保育料の値下げは考えられません。

### 14、情報開示について

行政における情報開示は重要なこととは考えています。その方法として、広報や市ホームページを活用していくものと考えています。ただし内容や方法については今後の検討課題です。

### 15、保育園の増設について

浦安市では待機児解消策として緊急保育五か年計画の見直し中です。ご存知の通り、今年7月には弁天保育園が開園しましたし、東西線浦安駅前には、地区保健センター跡地を転用して16年11月に1園開園予定です。そのほか、現在の法務局登記所に保育園と児童育成クラブを建設するよう検討しており、17年4月に保育園を開設予定です。また、今後の計画としては、富士見に民間保育園を誘致する予定と、入船北幼稚園を保育園に改める予定、また新浦安駅前に18年4月にできる新浦安駅前複合施設内にも保育園をつくり、現在10園で1320人の定員を18年度には、15園で1870人定員にする計画で進めています。18年度の時点で要保育児童を1863名程度と見込んでいるため、この1870人定員の15園を用意すれば、この時点で待機児問題は解消できると想定していますが、保育園ができれば申請を予定していなかった人も「働きたい」という新たな需要も出てくるため、推移をみていかなくてはならないと思います。

### 16、既存公立保育園の運営について

今後増設する園につきましては経費の問題から、公設民営を基本に考えていますが、既存の公立園の民営化は現在のところ具体的には考えていません。ただ、今後検討していかなくてはならないでしょう。

### 17、入園制度について

審査結果の発表を早くしてほしいというご要望ですが、現在も毎月15日に審査をしまして、結果はすみやかにご報告していますので、現状のまま続けていきたいと考えます。入園制度については市の規則で決められていますが、現在この規則改正を予定しています。改正の主な内容としては、兄弟がいる場合、同じ園への入園を優先、転園希望は年に一回の審査から毎月審査にする。育児休業の際、上の子の入園については、下の子が満一歳になった年度末までは可能になりますが、それ以降は待機児も多いので退園をすることになります。こうした規則改正につきましては決まり次第お知らせはしたいと考えています。

## 18、集団検診等の土・日曜日実施について

集団検診は市では健康増進課の管轄でありまして、現状では医師会の協力を得て実施しているので、医療機関が休診となる土日の実施は困難です。ただし、各種申請の窓口は、土日にも開いていた方が利用者にとっては利便性が高いので土曜日に窓口を開設するのか日曜日にするのか平日夜も開設するのか、現在市全体で検討しているところです。

## 19、地域交流について

現在も園庭開放や地域との交流を図っている。また、保育園で実施している相談事業についても地域の重要な子育て支援活動であると考えています。中学校との交流等については、本来の保育業務に支障のない範囲で受け入れています。東西線浦安駅前の施設ではデイサービスと保育園との交流も可能になるので、当然、こうしたところでは活発にしていきます。

## 20、学童クラブについて

利用希望が増えているので現在、整備を検討中です。

### 要望書についての質疑応答（フォーラム全体要望）

**フォーラム：**給食・おやつのごことで回答いただきましたが、土曜日の給食は少ないと感じています。改善の余地があるのでは。

**市：**土曜日の給食については職員の体制もあり、ふだんの日よりもメニューが簡単なものになるという傾向はあるかもしれませんが、極端に少ないということはないと思います

**フォーラム：**子どもに聞いてもおなかが空いたと言うので、やはり少ないと思いますが。

**市：**しっかりとカロリー計算されていますが、状況を確認してみます。

**フォーラム：**新しく「海園の街」と「弁天」保育園が公設民営の新方式で開設されました。私たちが注目していますが、昨年のこの話し合いの場で第三者評価を実施するという発言がありましたが、その第三者評価の結果というのは、いつごろ公表されるのでしょうか

**市：**第三者評価というのは保育園だけの問題ではなく、国の方でも福祉サービス全体で考えるべきとしていますので浦安市では現在、いろいろな福祉サービスについて評価表を作成しています。それに基づいて15年度から17年度にまずは自己評価をしていくということで考えています。

**フォーラム：**第三者評価の対象とするのは、認可園だけですか。

**市：**そうです。民間で市のお金が出ていない園について「これをやりなさい」ということは、非常に難しい。市のお金が出ている園については、評価表を使って自己評価しなさい、ということです。ですから認可園だけになります。無認可園は届出制ですが、無認可園での保育の問題については、県による立ち入り調査が年1回行われます。

**フォーラム：**新しい園の定員を教えてください。

**市：**平成 16 年・11 月東西線浦安駅前子ども・高齢者施設（地区保健センター跡地）定員 60 名  
平成 17 年 4 月・第 10 保育園（法務局跡地）定員 110 名  
平成 17 年・私立保育園（富士見）定員 120 名  
平成 17 年・入船北幼稚園転用・定員 110 名  
平成 18 年・新浦安駅前複合施設・定員 110 名

東西線浦安駅前の子供高齢者施設（地区保健センター跡地）は 60 人です。また、法務局跡地の第 10 保育園は定員 110 人で運営法人を募集しています。富士見 120 人、入船北 110 人、新浦安駅前 150 人です。今年 4 月時点で浦安市内に待機児童は 216 人いました。しかし、新設の弁天保育園に 90 人弱入園した後も現在、210 人の待機児童がいます。「潜在的な需要」といえばそれまでなのかもしれませんが、近くに保育園ができれば、預けて働こうという方が出てくるのです。今の 1863 人の要保育児童推計で待機児童が解消するというのは、あくまで推計で、最終的にいったいいくつまでつくればいいのか、市はいくつまで保育園を作るのか、という問題が常にあります。第 10 保育園については、用地買い取りの交渉を待って設計したのでは遅くなるので既に設計を始めています。その設計費用も当初予算には計上していないので予備費をつかって対応しています。

**フォーラム：**法務局跡地に予定されている保育園の運営法人の募集が本日（11月14日）〆切でしたが申し込み状況はいかがですか。

**市：**いまのところ申し込みがあったのは社会福祉法人が 2、株式会社が 4～5 です。

**フォーラム：**待機児童の将来推計の根拠は、どのように求めているのですか。

**市：**平成 14 年 2 月に 5 年計画を立てた時点では、13 年 4 月の申請率をもちいて推計しました。平成 14 年 4 月ではその差がどのくらいあったかを検証してみましたが、14 年はほぼ推計通りで、15 年になって、申請率に若干の差が生じてきました。新設園ができると、その周辺地域で一気に申請率が上がる現象があります。浦安の場合、保育園を作りたくても、つくる場所がない地域もある。よって既存施設の転用ということも考えていかなければなりません。入船北幼稚園の転用などはその例です。それから地域によっても人口構成が違うということも配慮しなければなりません。新町地区や、中町地区の中でも東野地区が、児童の急増が見込まれる一方、美浜・入船などでは児童人口は減少傾向です。

**フォーラム：**土曜日の保育について、なぜ午後 4 時で保育園が閉まってしまうのですか。平日と同じく午後 7 時まで開園することはできないのでしょうか。

**市：**利用者からそのようなご指摘があるのは承知しておりますが、職員体制全体を見直さないと、実現は難しいのです。経費と負担の見直しや、受益者負担という考え方も打ち出していかなければなりません。次世代育成支援対策推進法ができて、社会全体で次の世代のお子さんをどうするか、市町村全部が行動計画をつくるため、現在、市ではアンケート調査をしてその結果を

まとめています。保育園の利用意向を含め、子どもたちをめぐってどういうニーズがあるのか、全体の中で検討していかなくてはならないと思います。また、現在の保育園の中で、土曜保育時間を延長したり、日曜保育を実施したりしても、一つの保育園の中での希望者はどうしても少数になると予想されます。利用者がある程度いなければ採算があわないし、職員組合との関係もあるので、すぐに来年から実施などというわけにはいかないでしょう。

**フォーラム：**今回、市内の公立保育園全園の父母に行ったアンケート調査の中でも「公立だから安心して子どもを預けている」という方が、とても多くいました。ぜひとも、公立の中で多様なニーズにこたえてほしいと思います。

**フォーラム：**園での投薬について「慢性の疾患」に限っているというお答えがありました。乳幼児の場合、中耳炎を発症したときなどに医師から薬を処方され「1日3回必ず飲ませるように」と言われることが多いのです。昼間の分を夕方飲ませることになり、本人にとっても負担が大きいので何とか園で対応してもらえないのでしょうか。

**市：**事情はよくわかりますが、投薬の件は、保育園の中でそれがきちんとできるかどうかというのが問題なのです。最近医療ミスが大きく報道されていますが、プロの看護師や医師がいる医療機関であってもそうしたミスが起きるわけで、いったん始めますよ、となったらあらゆる危険性を一つ一つ点検して間違いのないようにしなければならないわけで、やはり慎重にならざるを得ないのです。

**フォーラム：**同じ投薬でも、塗り薬さえだめなのでしょうか。

**市：**例えばほかのお子さんの薬を塗ってしまった、ということもないわけではないでしょう。そういうところでご理解をいただくしかございません。

**フォーラム：**病後児保育の「ぱんだルーム」では、薬を渡して飲ましてもらっています。保育園の看護師さんに、投薬などの責任を持たせてほしいと思います。

**フォーラム：**障害児保育の枠で受け入れた子どもたちについても延長保育を行っているのでしょうか。また、他市では障害児は民営では受け入れず、公営が受け入れるということを知ったことがありますがいかがですか。

**市：**障害児保育の枠で受け入れたお子さんについては現在、延長保育は行っています。現在、弁天と海園では、障害児保育で応募してくるお子さんがいないので行っていませんが、ほかの園ではすべて希望に応じて延長保育も行っています。

**フォーラム：**「ぱんだルーム」をもっと使いやすくしてもらうことはできないのでしょうか。市内に1か所しかないということがネックになっているように思いますが。

**市：**現在のところ拠点を増やす予定はありません。

**フォーラム：**保育園民営化の手順についての質問ですが、近隣の自治体では、保育園を民営化する際、親に

話し合いの余地や時間がないくらい、決定までに余裕がない例が目立ちますが、浦安市ではどのように考えているのでしょうか。

**市：**既存園の民営化はやるとなれば、時間をかけないとならないでしょう。今の時点で来年から、というのは考えていません。公立保育園の民営化は市川で18年度から、船橋で17年度から行われることになっています。しかし、こうした例を見ていても、少なくとも一年以上前には方針として出さなくてはならないでしょう。浦安の場合は、現在のところ、スケジュールも引いていないです。市の方針を決めるときは、ボトムアップもトップダウンもあります。いろいろなご意見を伺うというのは、あるでしょうし、方針を出す前には何らかのアクションがあってしかるべきとは思いますが、でも、どういう形でご意見を伺うのか、というのは、これもいろいろあるだろうとは思われます。

**フォーラム：**民営化の流れがいいか悪いかわからないけれど、私たちは民営化されるのであればせめて条件を考える時間というのがあるかということが気になります。

**市：**私たちは保育の質を低下させようなんて思っていません。先ほどから、なんで土曜が4時までなのか、という声も聞かれましたがこれは職員の勤務体制との問題があるので、なかなか解決ができないのです。よって公立の方でできない問題は民間の方でやってもらうしかない。サービス向上のためです。だからといって保育の質を落とそうなんて思っていません。結果として経費の節減や、職員の補充をしなくてもいい、という副次的なことはあります。

**フォーラム：**現状では柔軟なサービスができないので、民営化が課題になっているというように理解したらいいのでしょうか。株式会社はまだ門戸を広げるといのは、どうも納得がいきません。

**市：**まず保育園のお金の流れを説明します。先ほど保育園の経費が年間18億円かかっていると話しました。このうち、完全に市の負担になっているのが8億円～9億円です。本来、国の決めた経費を約9億円としましょう。このうち、1/2が国、1/4が県、市町村で同等に負担する、という決まりごとがあります。ところが、これでは3歳以上の園児については副食給食となって、毎日ご飯を家庭から持参が必要です。その上、開園時間は11時間びったりで、その分の延長保育にしかお金が出ない。経費全体でも基準通りだと11億円にしかならない計算です。市が年間8億円～9億円も負担しているそのほとんどが人件費です。認可保育園を民間で運営してもらった場合はどうかとなると、市内の私立「みのり保育園」の例をみますと、こちらは苦しいながらも国の決めた経費内で経営が成り立っています。もちろん委託料は市が払っていますが、公立保育園の方が職員の年齢が高めで配置の人数が多いということもあります。

**フォーラム：**いまのお話を聞いていますと、民営化すれば、配置する職員の人数を減らすこともできる、というように聞こえました。職員の人数が減れば直接子どもの保育の質にかかわってくるような気がしますが。

**市：**そういう意味ではなく、工夫の余地が出るということです。皆さんも、民間企業にお勤めの方が多いと思いますが、人のやりくりについては民間の方が融通がきくでしょう。市の職員でやりくりすると、せいぜいできるのは1週間単位で40時間になっているか、1か月単位くらいで、昼食時間だけ人を入れるということがなかなかできない。必要な時間だけ、必要なように、

短時間労働者を入れるなど、苦しい中でも質を落とさない努力ができるということです。

**フォーラム：**入園制度についてですが、どんな基準で入園が決められているのかなどを公表される予定はありますか。

**市：**基準はすでに公表しています。市のホームページで指数などとともに掲載しています。

#### 要望書についての質疑応答（各園要望）

**フォーラム：**猫実保育園では雨のときの送迎で園庭がぬかるんでいます。再度お願いしたいのですが。

**市：**通路をつけられないことはないが、遊具に危険ないようにとなると結構難しい。逆にみなさんの方にいいアイデアはありませんか。

**フォーラム：**「ベビーカーが埋まってしまって大変だ」という声も聞かれました。ラバー状のようなものを考えてはどうでしょう。

**市：**いったん水を含むとかなり重くなってしまいうし、距離も長くなるし・・・。

**フォーラム：**例えば木片のチップのようなものや陸上競技場のトラックの素材は。

**市：**陸上競技場はスパイクはいているから滑らないけど、普通の靴では結構滑るらしいですよ。

**フォーラム：**雨の時にもう一つの門を開けてもらうなどは。（入船保育園）

**市：**入り口を複数つけることにおける、管理の問題も出てくるので、どっちを取るかという話になります。私たちは園児を第一に考えたいと思います。

#### その他の質疑応答

**フォーラム：**「ぱんだルーム」について広報が少ないのでは。

**市：**新入園児に配るパンフレットにはこのようにつくってあります。各園には置いてあります。

**フォーラム：**父母会のHPにも「ぱんだルーム」の利用のノウハウを提示したりすることはできる。市役所のHPは使い勝手がよくないという話を聞いたので、父母会HPにリンクや紹介をしても良いでしょうか。

**市：**それはかまいません。

**フォーラム：**災害時に連絡体制の中で、現地に行かないと状況がわからないというのは不安だ。せめて伝言ダイヤルなどを検討してはどうでしょうか。

**市：**お子さんの安全、職員の安全を第一に対処するし、近所に保護が必要なお子さんがいたら保護するのが福祉施設としての役割なので、とても伝言ダイヤルまでは手は回らないと思います。現場に帰ってきて確認してもらう、ということでご理解・ご協力をお願いしたいと思います。市としても災害マニュアルは、このくらいの厚さで2冊あるし、園ごとに災害マニュアルはつくってあります。また、年1回は消防署を呼んで訓練を実施しています。

**フォーラム：**建物の耐震チェックはされているのでしょうか。

**市：**園舎が建設された当該年の基準法には合っています。私の記憶では、阪神大震災でも木造家屋は壊れたが、鉄筋コンクリート建物の被害は少なかったと記憶していますが。

**フォーラム：**フォーラムの要望書にできれば来年度からは書面で回答をしていただきたいのですが。

**市：**本来、懇談の場なので書面ではなくて口頭で、ということで先日も説明しました。

**フォーラム：**こちらでは議事録を作っていますが、去年から比べて何が前進しているのかも事前に知りたいし、仕事の都合などでこの場に来ることができない人たちの意見も話し合いに反映させたいのです。

**市：**役所が文書を出す、ということになるとそれなりの文書になってくる。そのような文書もらっても役にも立たないのではないかと思います。この場を私たちは「交渉の場」とは考えていません。あくまで懇談の場で真摯な対応をするということでここに来て回答しています。要望については承るが、「検討します」と言ったからといってすぐに結果が出せるという意味ではないことを考えていただきたいと思います。

**フォーラム：**待機児問題の話が出ましたが、今、申請を出していなくても近くに保育園が出来れば働きたいと考える人がいても不思議ではありません。皆さんのお仕事は、そうした若い人たちに安心できる子育ての場をつくり応援する意義深いものです。どうぞ市当局の方々に頑張っていたきたいと思います。